

たいし

Public Relations TAISHI Town

聖徳太子没後
1400年



▲ 9月13日(月)町立幼稚園へチマ観察



2021

10

No.563

index

- 2 新型コロナワクチン接種情報
- 3 聖徳太子1400年御遠忌記念企画展
- 4 公民連携によるまちづくり
- 5 フォトニュース
- 6 みんなで育てる地域公共交通
- 8 みんなのひろば
- 10 健康インフォメーション
- 12 高齢者情報局
- 13 人権コーナー気づく
- 14 子育て応援ナビ
- 16 太子町成人式
- 17 タウンインフォメーション

新型コロナワクチン接種情報

●これまでの新型コロナワクチン接種の経過

5月16日～7月31日まで、P L 錬成会館とすばるホールで、65歳以上の高齢者を対象とした富田林市・河南町・千早赤阪村と合同での新型コロナワクチンの集団接種を毎日行いました。

また、高齢者の接種状況も踏まえ、より早く、より多くの人に接種すること目的に、7、8月の2か月間（計10日間）は、町立万葉ホールで16歳～64歳の住民を対象とした集団接種を行いました。

9月、10月についても計10日間を設定し、12歳～15歳の住民を接種対象に含めた集団接種を進めているところです。12歳～15歳までの人の接種予約数は305人（9月15日時点）となっています。

●新型コロナワクチンの接種状況

| 接種対象人数 | 1回目接種人数 | 2回目接種人数 |
|---------|----------------|----------------|
| 12,096人 | 9,527人 (78.8%) | 8,939人 (73.9%) |

※9月15日時点の接種状況です。（ ）内は接種率。

※ワクチン接種記録システム（VRS）より。

町での新型コロナワクチン接種は、富田林医師会のみなさまの協力により行っています。
 普段の医療活動の合間を縫って、ワクチン接種に従事頂いています。



▲町立万葉ホール会場でのワクチン接種の様子

●10月の接種日程

10月接種日程は下記のとおりで、基本的には、9月に1回目のワクチン接種をした人が対象となります。

11月以降の接種日程については、現在調整中です。

10月に1回目の接種を検討している人は、ワクチン接種コールセンターまでお問い合わせください。

[10月の接種]

| とき | 10月9日(土) 午後2時～ | 10月14日(木) 午後6時30分～ | 10月16日(土) 午後2時～ | 10月23日(土) 午後2時～ |
|-----|-------------------|-----------------------|--------------------|--------------------|
| ところ | 保健センター(千早赤阪村) | かなんぴあ(河南町) | 町立万葉ホール(太子町) | かなんぴあ(河南町) |

※10月の接種会場が、町立保健センターから町立万葉ホールに変更となっていますので、ご注意ください。

※9月15日現在の情報です。予約状況などにより、変更となる場合もありますのでご了承ください。

接種の最新情報は随時、町ホームページや防災行政無線などでお知らせします。

◎ワクチン接種をした後も、もう一度基本に戻って感染対策を！

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- ・人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- ・遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- ・会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- ・外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- ・家に帰ったらまず、手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- ・手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗う。（手指消毒薬の使用も可）

引き続き一人ひとりの基本的感染対策に、ご協力をお願いします。



◆問合せ 新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター（町立保健センター内） ☎98-0310

竹内街道歴史資料館 聖徳太子一四〇〇年御遠忌記念企画展

「聖徳太子墓 — 叡福寺北古墳 —」

【とき】10月2日(土)～12月5日(日) 【ところ】町立竹内街道歴史資料館 【入館料】200円

謎に包まれた 聖徳太子のお墓に注目

聖徳太子の墓は、円い形をした古墳です。上図は、叡福寺を空から撮影した写真です。上部にある森のように木々が生い茂っているところが、聖徳太子墓です。

現在、聖徳太子墓の中は誰も入ることはできません。最後に石室へ入ったのは、明治時代です。それ以降、固く扉を閉ざしている状態が続いています。

この記念すべき年に、謎を秘めた聖徳太子墓を探るため、本展を企画しました。

本展示では、数少ない聖徳太子墓より出土した土器や同時代に築かれた古墳の資料、さらには、聖地化していく聖徳太子墓に注目した資料を一堂に集めました。ぜひ、この機会にご来館ください。



注目!! 聖徳太子の棺

聖徳太子の棺と考えられている断片が、安福寺(柏原市)に伝わっています。棺は、夾紵棺せきじゆこかんと呼ばれる絹と漆を何層にも重ねた棺となっています。非常に珍しい棺であるため、柏原市指定文化財となっています。



◆所蔵者 安福寺

◆画像提供 柏原市教育委員会

聖徳太子をもっと知ろう!!

竹内街道歴史資料館友の会記念講演会「古代史からみる聖徳太子」
【講師】大阪府立近つ飛鳥博物館館長 舘野 和己 氏

【とき】11月20日(土) 午後2時～4時 【ところ】町立万葉ホール
【定員】40人(先着順) 【参加費】200円

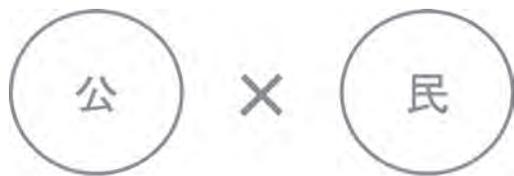
【申込】町立竹内街道歴史資料館へ電話でお申込みください。
※10月2日(土)より受付開始。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、急遽中止となる場合があります。
◆申込・問合せ 竹内街道歴史資料館 ☎98-3266 休館日: 月曜日(祝日は閉館)



公民連携によるまちづくり

公民連携デスクでは、民間企業などとのワンストップ窓口として相談などをお聞きし、迅速かつ適切に担当部署につなぐ役割と、担当部署からの提案を民間企業などと調整する機能を担い、質の高い住民サービスの提供と、地域活性化につながる取組を展開しています。



双方の強みを活かし、課題解決に向け連携

を図るため、積極的に民間企業などとの包括連携協定を締結しています。

包括連携協定とは、地域が抱えている様々な課題に対して、自治体と民間企業などが「福祉」「安全・安心」「教育」など複数の分野において、双方の強みを生かして課題解決に向け連携することを目的として締結するものです。また、協定の締結は、民間企業などの活動に「公共性」の位置づけができるなど、民間企業などの側にとってもメリットがあるとされています。

今月号では、包括連携協定を締結した企業との取組の一部をご紹介します。

その他の包括連携協定や公民連携の状況については、町ホームページ（公民連携コーナー）をご覧ください。

町ホームページはこちらから▶

さらに、社会課題の解決、地域の活性化、住民サービスや町の魅力のより一層の向上を

大阪東部ヤクルト販売（株）との包括連携協定



8月27日（金）、大阪東部ヤクルト販売（株）と太子町は、包括連携協定を締結しました。今後、双方の資源を活かした事業に協働で取り組むことにより、住民サービスの向上と地域の活性化を推進していきます。

・連携分野と今後の取組（予定）

- ①町のPRに関すること
 - ・双方の広報媒体による町政のPR
- ②健康、福祉、教育に関すること
 - ・出前健康教室の実施
 - ・健康相談の実施
 - ・ヤクルト製品の提供
- ③安全・安心に関すること
 - ・高齢者や子どもの見守り活動
- ④その他本協定の目的に沿うこと



◆問合せ 公民連携デスク（秘書政策課内） ☎98-5531

10月の太子TVは、10月13日（水）です。

太子TVは、毎月、第2水曜日 午後6時～生配信中！町の様々な情報や魅力を発信しています。

みなさまぜひ、ご覧ください。

※太子TVとは？…太子町と（株）F.C. 大阪が放送しているインターネットテレビです。

●10月の放送（予定）

- ・コーナー先生の「ワンポイント English」
- ・公園であそぼ！
- ・聖徳太子1400年御遠忌記念企画展 ほか

【新コーナーが始まりました】

・9月放送から、町立中学校ALTのコーナー先生の「ワンポイント English」のコーナーが始まりました。コーナー先生と一緒に、楽しく英語を学びましょう！



10月放送から、子育てガイドブックの「おやこでおでかけ」のコーナーに掲載されている公園などを紹介する、「町内の公園であそぼう！」のコーナーが始まります。

遊具の紹介のほかトイレや駐車場に関する情報などもお届けします。

※子育てガイドブックとは？…（株）サイネックスと町が公民連携の取組により制作した冊子です。町で子育てをされる皆さんに、子育て支援課、地域子育て支援センター（やわらぎ幼稚園）、町立保健センター、町立幼稚園の窓口などで配布しています。

太子町 × 株式会社サイネックス 2021 太子町 子育てガイドブック

ご視聴はこちらから▶

太子TV 検索 CLICK!

◆問合せ 秘書政策課 ☎98-5531

とくとく健診を行いました

8月22日(日)～28日(土)までの6日間(24日は除く)、町立万葉ホールでとくとく健診(集団住民健診)を行いました。

今年も、感染対策を行いながら新型コロナウイルス感染症対策のため時間を延長し、総勢596人の皆さんが自分の健康づくりのために健診を受診されました。



PHOTO
NEWS

町立幼稚園 楽しい水遊び!

夏休み中の自由登園日、久々にクラスの友達に会えて嬉しそうな子どもたちは、芝生の園庭で水遊びを楽しみました。

ジャンボシャボン玉作りに挑戦し、青空へと飛んでいく様子を喜んでいました。

冷たい水が気持ちよく、いつまでも水遊びを楽しみ、夏ならではの遊びができました。



東京2020パラリンピック聖火フェスティバル採火式

8月16日(月)、町立総合福祉センターで、東京2020パラリンピック聖火フェスティバルの採火式を行いました。

東京2020パラリンピック聖火は、「パラリンピックの聖火はみんなのものであり、パラリンピックを応援する全ての人の熱意が集まることで聖火を生み出す」という国際パラリンピック委員会の理念の基づき、全国各地で聖火のもとが採火されました。

町では、聖徳太子1400年遠忌にあやかり、叡福寺のご協力により聖徳太子御廟前で種火を頂き、町内の障がい者団体及び施設の代表者の皆さんの参加で採火式を行いました。

採火された火は、大阪府の火として一つにまとめ、東京迎賓館に集められました。





みんなで育てる 地域公共交通

17

●コミュニティバスの乗降人数（8月）

日中はまだ暑さが残りますが、朝夕は随分と涼しくなりました。9月12日までとされていた緊急事態宣言が9月30日まで延長となりました。本紙がみなさんの手元に届くころには、感染者数が解除されるまでに落ち着いていることを切に望みます。いずれにしましても、不要不急の外出を控えつつ、やむを得ず外出が必要な場合は、万全の感染対策（マスクの着用、うがいと手指消毒の励行、三密の回避など）をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本号も引き続き、太子町コミュニティバスの運行実績【8月】を紹介します。

総合福祉センター役場線

総合福祉センター役場線の乗降人数は197人（総合福祉センター利用者特別乗車証による利用者を除くと181人）

で、1日あたり5.8人（町立総合福祉センターが休館日の水、土日、祝日を除くと6.3人）でした。町立総合福祉センターが臨時休館しているため、全体的に見れば、変わらず厳しい結果となっていますが、先月との比較に注目すると、8月は4つすべての項目で7月を上回っています。なかでも、休日の平均乗降人数は4月以降、わずかながら増加を続けています。この有事のなか、休日の乗降人数がわずかながら増加している原因は、ワクチン接種会場への利用ではないかと考えられます。

畑・山田役場線

畑・山田役場線の乗降人数は111人（福祉センター利用者特別乗車証による利用者を除くと110人）で、1日あたり3.6人（町立総合福祉センターが休館日の水、土日、祝日を除く2.7人）となりました。総合福祉センター役場線と異

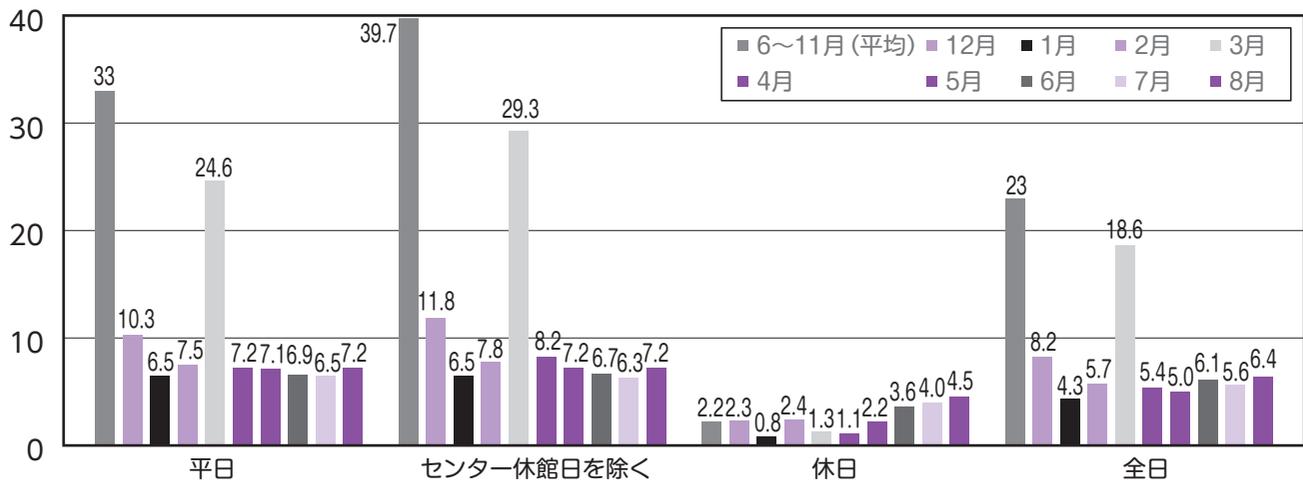


図1：総合福祉センター役場線：平均乗降人数の比較【令和2年6月～令和3年8月】

(人)

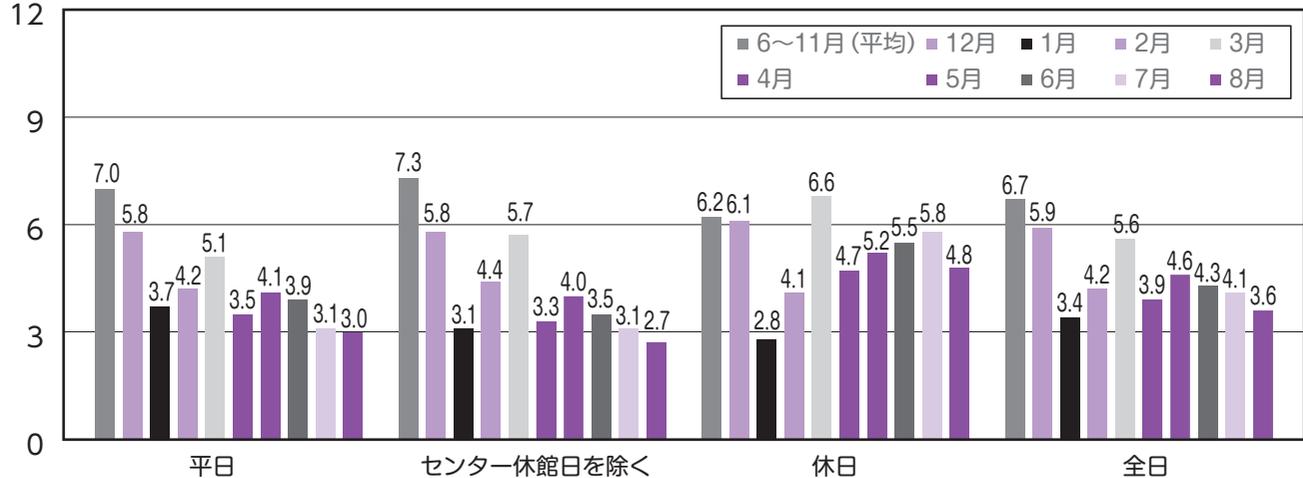


図2：畑・山田役場線：平均乗降人数の比較【令和2年6月～令和3年8月】

なり、8月は4つすべての項目で7月を下回っています。特に休日は4月から7月まで順調に増えていましたが、ここにきて、大きな減少を示しました。上記に述べたワクチン接種の際の利用効果はなかったと見るべきでしょうか。

●金剛バスの利用状況についてお聞きしました

6月26日(土)に「磯長台の福祉を考えるつどい」の皆さんとお話しした際に「金剛バスの利用状況が気になる」という意見を聞きました。私も同じように気になっていましたので、9月9日(木)に金剛自動車株式会社(金剛バス:敬称略)の北野智洋・運輸部次長(太子町地域公共交通会議の委員にご就任頂いています)に金剛バスの利用状況をお聞きしました。

1) 新型コロナウイルスの影響

未曾有の危機に直面していて、大変苦しい経営状況であるとのことでした。苦しいなか、輸送サービスの質を落とさず、地域の「足」を守るためにご努力頂いていることに頭の下がる思いです。引き続き、太子町地域公共交通会議も金剛バスの利用促進を検討・尽力していきます。太子町の皆さんも「乗車」という協力・支援をどうぞよろしくお願い致します。

2) 太子中央循環線・聖和台循環線の利用状況

特に磯長台や聖和台にお住いの人は気にされているだろうと思います。金剛バスの乗降者数(太子町を運行する路線に限る)の15%が太子中央循環線・聖和台循環線の利用によるものとのことでした。新型コロナウイルスのため、乗降者数は当初の想定よりも少ないですが、15%という割合は、他の路線からの乗り換えを考慮しても、意外に大きいという印象を私は強く持ちました。

3) 畑・平石線の利用状況

畑・山田地域の皆さんが通勤や通学時にバスで上ノ太子駅を利用できるように、金剛バスは直通便の畑・平石線を、太子町は太子町役場乗り換えの畑・山田役場線を設定しました。太子町コミュニティバスの利用統計については、毎月確認して利用状況を把握していますが、太子町民でない私にとって、金剛バスの利用動向は感覚でしか掴めていません。早朝の畑・山田役場線の乗降人数が思ったよりも少ないため、畑・山田地域の皆さんの要望を満たせていないと心苦しく思っていました。北野次長によると、早朝の畑・平石線の利用者は「結構いる」とのことでした。

4) バス停「梅川橋」の利用状況

自家用車を自由に使えない人にも、バスを利用して商業施設(カインズ・ラムー)で買い物をしてほしいという思いで、金剛バスに「梅川橋」のバス停の新設をお願いしました。ところが昨年度のOD調査の結果をみると、利用者がほとんどありませんでした。バス停から商業施設まで距

離がある、現在の運行時間ではゆっくり買い物ができないとの指摘もありました。みなさんの買い物をサポートすることは、地域公共交通の重要な役割です。

ところが最近、少し状況が変わってきているようで、買い物客や商業施設で勤務する人が梅川橋のバス停を利用されています。バスの使い方が少しずつ地域に浸透しているものと思いますが、私はさらに「テコ入れ」が必要であると考えています。年内には商業施設の南側にドラッグストアが出店すると聞いています。ますます、太子町のみなさんにとって、重要な場所になりつつあります。

以上がお聞きした金剛バスの利用状況の一部になります。今後は金剛バスに可能な範囲で利用統計をご提供頂けるようお願いし、太子町の地域公共交通の状況を全体的に捉え、皆さんにお伝えしていきたいと考えています。

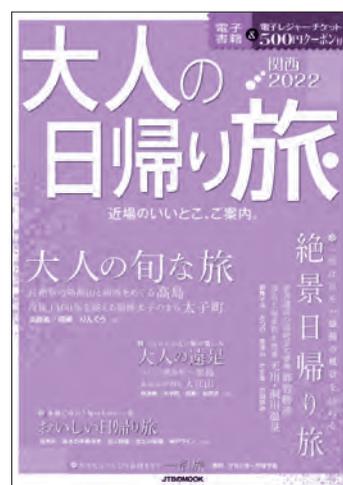
●観光と地域公共交通を一体として考えよう

私は地域交通の専門家であると同時に地域観光の専門家でもあります(現在は地域観光の仕事のほうが多いです)。

新型コロナウイルスの影響により、観光そのものが疲弊していますが、地域活性化に観光が不可欠であることには、変わりはありません。特に最近では身近な地域を散策する「まち歩き観光」(マイクロツーリズムとも呼ばれています)が多く、地域で人気を博しています。

太子町には、まち歩き観光に最適な歴史文化資源が数多くあります。上記の雑誌はJTBパブリッシング社が今年3月に出版したもので、太子町が「没後1400年を迎える聖徳太子のまち」として、写真入りで大きく、魅力的に紹介されています。そして、コミュニティバスや金剛バスを利用した、観光施設・スポットまでの行き方が記載されています。何だか嬉しいと思いませんか(私は嬉しいです)。

豊かな観光資源を目的に太子町に来られるビジターは今後ますます増加すると思います。その受け入れ態勢の1つとして、私は太子町のホームページでコミュニティバスと金剛バスの存在を大いに広報してほしいと願っています。



■本稿は、太子町地域公共交通会議会長(大阪産業大学経済学部・大学院経済学研究科教授)の小川雅司氏が執筆されたものです